

A O M O R I

V E T

R E Q U I R E D

令和8年度

青森県獣医師職員募集



青森県基本計画

「青森新時代」への架け橋

Aomori Transformation

動物の健康だけでなく、人の健康を守るのも
獣医師の役割である。

そうした役割を担う獣医師が活躍する現場が、
青森県には数多くある。

獣医師だからこそ携わることができ多くの分野で
経験を積んでみないか。

獣医師としての見識を深めてみないか。

青森県は、あなたを待っている。



青森県ってどんなところ？



青森県でしか出会えない自然と動物たち 三方を海に囲まれた、魅力的なフィールド。

本州最北端の青森県。農林水産物の生産・加工が盛んで、りんご・米・野菜など多様な品目が栽培されているほか、三方を海に囲まれている地の利を活かし、漁業や養殖も営まれています。**畜産も盛んで、豚・鶏卵・ブロイラー・肉用牛など多様な畜種が飼養されています。**

また、青森県は「北限のサル」として知られるニホンザルが生息し、世界遺産に登録されている「白神山地」では、多様な動植物が息づき、下北半島ではカモシカや様々な野鳥と出会うことができます。下北半島の最東端、尻屋崎（しりやざき）では、氷点下の猛吹雪が吹き荒れる極寒の岬で、じっと立ったまま春を待つ「寒立馬（かんだちめ）」もいます。

自然や動物を愛する方には、とても魅力的なフィールドです。

地方自治体に勤務する獣医師はどんな存在？

技術と挑戦で、動物・人・地域を守る、大変重要な存在です。

青森県庁の獣医師職員は、青森県産の食材を安全・安心に消費者に届ける役割を担っているほか、動物と人が安心して暮らせる地域の仕組みづくりに取り組んでいます。

次ページから詳しくご紹介します。

青森県の獣医師職員の業務

健康医療福祉部所管



保健所

食品衛生に関する業務として、飲食店などの食品関係施設の営業許可・届出に関する相談の受付・衛生指導、食品に関する苦情や相談の受付、食中毒発生時の調査などを行っています。
環境衛生に関する業務として、理容所・美容所・クリーニング所、公衆浴場、旅館及び興行場などの許可・届出に関する相談の受付・衛生指導などを行っています。



食肉衛生検査所

と畜場に搬入された牛や豚などの家畜について、生体検査から枝肉検査まで1頭ずつ検査を行うとともに、衛生的な処理が行われているか確認を行うなど、食肉の安全と衛生の確保に取り組んでいます。



動物愛護センター

「人と動物が共生し、健やかで安心して暮らせる社会の実現」を目指して、犬や猫などの適正な飼い方やしつけ方の普及、狂犬病予防対策、動物ふれあい活動、命の大切さを伝える授業、センターに保護された犬や猫を新しい飼い主へ譲渡する取り組みを行っています。



衛生研究所

青森県の保健衛生分野における科学的かつ技術的中核機関として、感染症や食中毒の原因になっている病原体（細菌、ウイルス等）の検査、食品中に農薬や添加物などが基準値を超えて含まれていないか等の検査を行っています。



保健衛生課

所轄官庁である厚生労働省との連絡調整や各公所の予算などのとりまとめを行っています。各公所での業務のDX化を推進するなど、現場で働く職員をサポートしています。



家畜保健衛生所

管轄地域の農場での定期検査や巡回指導などにより、家畜の様々な伝染病を予防して、まん延を防止することで畜産振興を図り、畜産農家の生産性向上に寄与しています。
青森県営浅虫水族館で飼育される海獣類（イルカなど）の健康診断・治療もを行っています。











畜産課

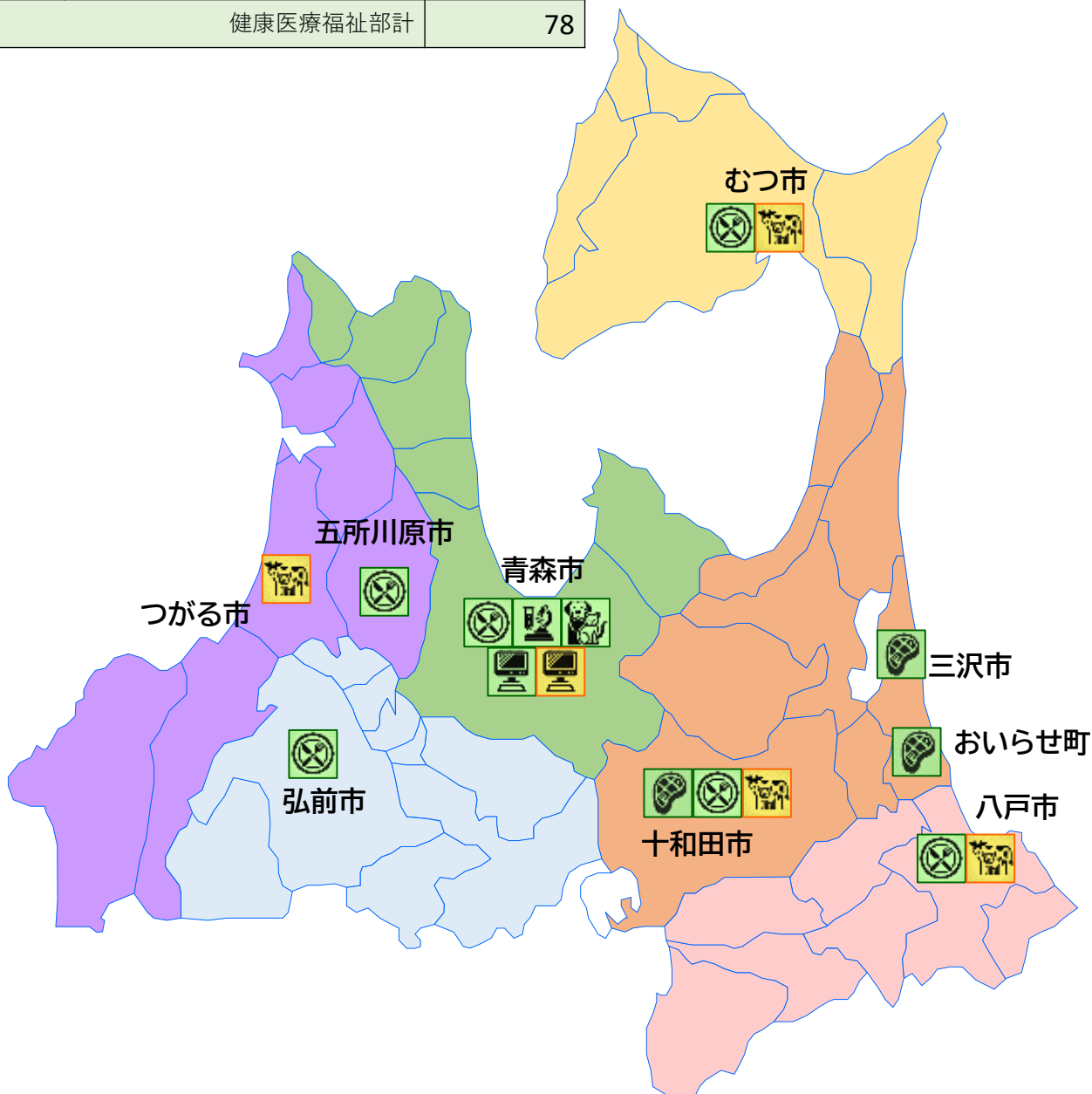
所轄官庁である農林水産省との連絡調整や各公所の予算などのとりまとめを行っています。各公所での業務のDX化を推進するなど、現場で働く職員をサポートしています。

農林水産部所管

獣医師職員の配置

獣医師職員数 113名 : 公衆衛生(健康医療福祉部) 78名
 家畜衛生(農林水産部) 35名 令和8年4月1日現在

組織	配置数	組織	配置数
健康医療福祉部所管		農林水産部所管	
 保健衛生課	5	 畜産課	5
 動物愛護センター	6	 地域農林水産事務所家畜保健衛生所(4公所)	30
 食肉衛生検査所(2支所含む)	46	 営農大学校	0
 衛生研究所	1	農林水産部計	
 保健所6公所	20	35	
健康医療福祉部計			
78			



勤務条件と待遇

勤務時間

8：30～17：15
(休憩時間 12：00～13：00)

※時差出勤や育児・介護を行う職員の早出遅出勤務制度があります。

食肉衛生検査所では、食肉衛生検査等の対応のため開始や終了の時間が異なる場合があります。

週休日・休日

毎週土・日曜日、祝日、年末年始

※勤務場所で異なる場合あり。

例：動物愛護センター：土、日、祝日勤務の場合があります。

休暇など

年次休暇

(20日/年、採用1年目は15日、繰越制度あり)

夏季休暇、結婚休暇、ボランティア休暇、服忌休暇、介護休暇など

出産・子育てをサポートする制度もあり、男性職員の制度活用も進んできています。

(産前・産後休暇、配偶者出産休暇、育児休暇、子の看護休暇、短時間勤務制度、部分休業制度など)

初任給・各種手当

大学新卒者の初任給の例
(令和8年3月時点)

区分	初任給 (初任給調整手当※を含む)
行政職	295,600円
医療職	319,200円

※令和7年度から、初任給調整手当は、**上限70,000円にUP**、支給期間は、獣医師免許取得後**最長35年間に延長**されました。

- ◆通勤手当、住居手当、扶養手当、時間外勤務手当などの諸手当が各要件に応じて支給されます。
- ◆その他、従事する業務によって、食肉衛生検査手当(月額18,900円)、家畜診療手当(月額12,600円)、狂犬病予防手当(日額300円)等の特殊勤務手当が支給されます。
- ◆ボーナス(期末・勤勉手当)は6月・12月の年2回支給されます。
- ◆昇給は原則、毎年1回行われます。

青森県の働き方改革

令和7年度末時点で、原則全職員を対象とした在宅勤務制度が実施されているほか、子育て中や介護中の職員を対象としたフレックス制度が試行されています。

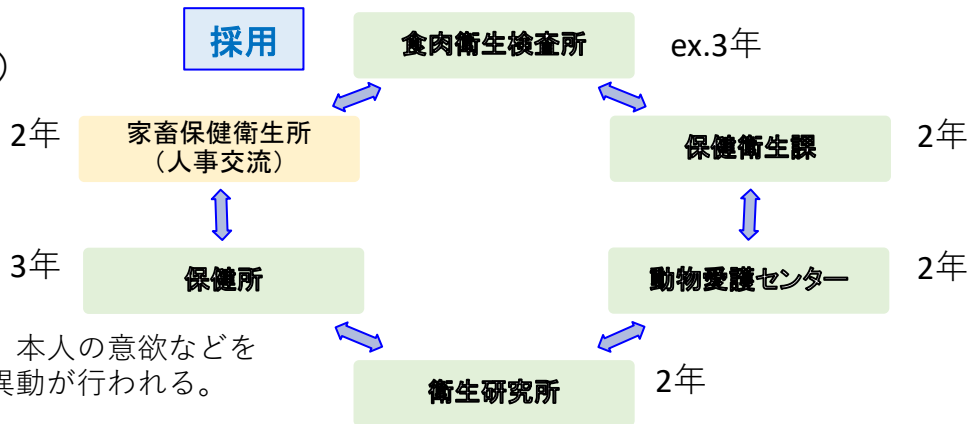
人事異動・昇任・人事交流

人事異動は、経験、適性、本人の意欲などを重視し行われます。

採用されると、「技師」となり、その後の昇任は勤務成績などを考慮して行われます。

公衆衛生分野、家畜衛生分野間で毎年2名ずつ、人事交流を行っています。

人事異動の例
(公衆衛生部門)



研修・スキルアップ

県職員として、青森県自治研修所において「ステージ別研修（新採用者研修など）」「コース別研修（コミュニケーション力向上をテーマにした研修など）」といった研修制度やeラーニング制度が実施されているほか、健康医療福祉部及び農林水産部による専門研修が実施されています。

主な専門研修など

主催	名称	対象
保健衛生課	食品衛生監視員向けHACCP研修	食品衛生監視員
	新人食品衛生監視員研修	
	食中毒対応研修	
	収去検査及び食中毒検査に係る研修	
	食肉衛生技術研修会 ※北里大学獣医学部と連携	
畜産課	病性鑑定研修	家畜衛生部門職員
	学術研究	
	家畜保健衛生業績発表会	



食肉衛生検査所

木戸口 技師

兵庫県出身
平成30年度採用

[経歴]
H30～ 十和田食肉衛生
検査所
R6～ 現所属



■ 現在の主な業務内容

私が所属する食肉衛生検査所では、安全な食肉を提供するために、と畜場に搬入される牛や豚などの獣畜についてと畜検査を行い、食用に適さない食肉を排除しています。

また、米国等に向け食肉を輸出するため、食肉関連施設衛生監視や細菌検査も行っています。

■ 青森県を志望した理由は？

青森県で大学生活を過ごし地域の自然や人の温かさに魅力を感じたことがきっかけです。大学卒業後、臨床の現場で大動物診療に携わり獣医師としてのやりがいを感じてきましたが、多岐にわたる業種を担う行政獣医師の役割に関心を持ち、学生時代に慣れ親しんだ青森県の畜産業発展に貢献したいと思い志望しました。

■ 印象に残っている仕事は？

初めてメインで担当した衛生講習会です。と畜場作業員の衛生管理意識を高めるための資料作成に悩みながらも、無事講習会を終えることができたときは達成感を感じると共にHACCP運営について自分自身も理解を深めることができ、とてもいい経験になりました。



とある1日のスケジュール

8:30	業務開始 メールチェック・事務作業の内容確認
9:00	牛or豚のと畜検査・施設の衛生状況を把握するための外部検証
12:00	昼休み
13:00	午前同様と畜検査に加え、事務作業・保留検体の精密検査・検査室の細々とした作業
17:00	業務終了 子どものお迎えのため保育園へ直行！

※紹介している各職員の所属の情報はR7年度末時点のものです。



保
健
所
（
三
八
保
健
所
）

高橋 技師

青森県出身
令和2年度採用

【経歴】

- R2～ 十和田食肉衛生
検査所
- R6～ 青森県食肉衛生
検査所
- R7～ 現所属



■ 現在の主な業務内容

食品の安全を確保するため、食品製造業者や飲食店などの監視や衛生管理に関する指導や助言を行っています。食中毒など飲食による健康被害の発生時には、被害拡大の防止と原因究明調査を行います。

■ 印象に残っている仕事は？

食品衛生に関する監視業務です。スーパーなどで販売される商品が工場でどう製造されているかを確認し、衛生管理や安全性に問題がないかチェックします。現場の方々が徹底した品質・衛生管理に取り組む姿を目の当たりにし、県民の安全な食環境を支えるという業務の重要性を改めて感じています。

■ 青森県を志望した理由は？

元々将来は地元である青森県で働きたいと考えていました。県内の私立大学へ進学しましたが学費が高額で経済的負担が大きいと感じていた時、大学卒業後に青森県で公務員獣医師として働くことで奨学金の返還が免除される制度を知りました。学費負担を軽減しつつ、地元で安定した就職が実現できる点に魅力を感じ青森県職員を志望しました。



とある1日のスケジュール

8:30	業務開始 → メールチェック
午前	申請書類の確認や情報収集をして調査の準備 → 現地へ赴き申請内容と相違がないか、また適切な衛生管理が行われているかを確認する
12:00	昼休み
13:00	午前に行った申請調査に関する事務処理、調査結果の整理や書類の確認作業。また、翌日の業務準備として調査計画の確認
17:15	業務終了



動物愛護センター

齊藤 技師
神奈川県出身
令和2年度採用

[経歴]

- R2～ 三八地域県民局
三戸地方保健所
- R5～ 青森県食肉衛生検査所
- R6～ 現所属



■ 現在の主な業務内容

私は動物愛護センターで愛護推進担当として、犬や猫の譲渡、動物しつけ教室やふれあい活動等の企画運営、SNSを用いた広報活動などを行っています。

また、県内で活躍される動物愛護団体の方々との連携した取り組みが円滑に進むよう連絡調整も担当しています。

■ 青森県を志望した理由は？

私は学生の頃に公衆衛生の研究室に所属しており、公務員獣医師になることを希望していました。在学中に県が実施する獣医師インターンシップに参加し、青森県の魅力を知り県で働きたいと思いました。

青森県に就職してからは保健所や食肉衛生検査所など様々な業種に携わることで、獣医師としての成長を感じています。

■ 印象に残っている仕事は？

R7年度から新たに始めた「シニア犬みとりボランティア」という取り組みです。青森県の愛護センターにやってくる割合が高い高齢犬の殺処分数を減らすことを目的としています。後日、私が作った啓発チラシを見た方が「チラシを見て、初めて動物愛護センターに来ました。ボランティアに応募したいです」と愛護センターを訪れてくれた事がとても嬉しかったことを覚えています。



とある1日のスケジュール

8:30	業務開始→動物の世話（治療・投薬等）
10:00	動物譲渡の補助業務
12:00	昼休み
13:00	広報活動・しつけ教室の開催
15:00	小学生に「命のおはなし」
16:00	動物の世話（治療・投薬等）
17:15	業務終了

■ 衛生研究所の主な業務内容

衛生研究所には、総務室、微生物第一部、微生物第二部、理化学部の4部門があり、感染症や食品の安全性に関する検査、調査研究等を行っています。

私は衛生研究所の所長として、県民の健康と安全を守るための重要な役割を任されていると感じています。

総務室業務

- ・財務事務、労働安全衛生
- ・庁舎・財産等の管理
- ・他の部の所管に属さない業務

微生物第一部業務

- ・感染症、食中毒のウイルス検査、調査研究
- ・感染症の発生情報の収集と分析、その結果の提供と公開

微生物第二部業務

- ・感染症、食中毒の細菌検査、調査研究
- ・流通食品検査

理化学部業務

- ・食品中の有害物質（残留農薬、アレルギー物質等）検査
- ・医薬品の検査



衛生
研究
所

定 所長
大阪府出身
平成7年度採用
衛生研究所長



保 健
健 康
衛 医
生 療
課 福
社 部

■ 現在の主な業務内容

私は保健衛生課で主に食肉衛生、輸出食品関係業務を担当しています。厚生労働省等所轄官庁との連絡調整や食肉衛生検査所の予算要求などの事務の他、厚生労働省の査察などに同行しと畜場や食肉処理施設の現場に向いています。

■ 青森県を志望した理由は？

出身が十和田市なので、生活しやすい地元に戻り、地元で貢献したいと志望しました。大学の友人とは離れてしまいましたが、その分久しぶりに会った時の感動は大きいです。

■ 仕事をする上で心掛けていることは？

自分で調べて分からないことがあれば、一人で抱え込まずに上司や先輩に相談・質問するようにしています。



とある1日のスケジュール

8:30	業務開始 メールチェック
9:00	輸出食肉施設認定に関する厚生労働省との協議、報告資料作成
12:00	昼休み
13:00	食肉衛生検査所のDX化に向けた打合せ
17:15	業務終了

高田 技師

青森県出身
令和5年度採用

[経歴]

- R5～ 青森県食肉衛生検査所
- R6～ 青森県食肉衛生検査所 三沢支所
- R7～ 現所属



家畜保健衛生所
(八戸家畜保健衛生所)

大澤 技師
青森県出身
平成31年度採用

[経歴]

- H31～ 十和田食肉衛生検査所三沢支所
- R3～ 青森家畜保健衛生所
- R4～ 十和田家畜保健衛生所
- R6～ 上北地域県民局上十三保健所
- R7～ 現所属



■ 現在の主な業務内容

家畜保健衛生所では、主に家畜の疾病の発生やまん延を防ぐため、定期的な疾病の検査をしています。それに加え、家畜の調子が悪いときは、原因究明のため、血液検査や細菌検査を実施します。

また、農場での家畜の飼養衛生管理が正しく行われているかをチェックし、農家さんに対して指導を行っています。

■ 青森県を志望した理由は？

学生の頃から将来は地元である青森県で働きたいと考えていました。大学の教授から県の公務員獣医師就学資金制度を教えていただき、4年次から利用しました。大学時代に大動物関係の研究室に所属したこともあり牛に関わる仕事がしたい！と思い青森県の家畜保健衛生所を志望しました。

■ 印象に残っている仕事は？

家畜保健衛生所に所属して1年目の頃、牛が受胎せずに悩んでいる農家さんの元へ上司と共に通っていました。治療と人工授精の結果、無事受胎して分娩することができ、産まれた子牛に私の名前を命名してくれました。この子牛は、農家さんと一緒に無事出荷まで見届けることが出来ました。その喜びと感動は今でも覚えています。



とある1日のスケジュール

8:30	業務開始
9:00	採材に必要な荷物を車に積んで各出張先へ出発 農家さんで採血等の採材
12:00	事務所へ戻り昼休み
13:00	午前中に採材した検体の処理及び検査
15:00	事務処理と翌日の採材道具の準備
17:15	業務終了



畜 農
産 林
課 水
産 産
部 部

漆山 技師

東京都出身
令和4年度採用

[経歴]
R4～ 八戸家畜保健衛生所
R7～ 現所属

■ 現在の主な業務内容

私は畜産課で、主に家畜伝染病の発生予防や家畜伝染病発生時のまん延防止対策を担当しています。

特に、近年、国内で発生が多く確認される豚熱や高病原性鳥インフルエンザ対策については、本県の養豚・養鶏業、ひいては地域経済を守るために極めて重要な業務です。

■ 青森県を志望した理由は？

家畜防疫に興味があり、公務員獣医師を志望していました。青森県には親の実家があり毎年訪問していたので親しみがありましたし、調べていくうちに畜産が盛んな県であることを知りました。親しみのある土地の家畜防疫に携わり、畜産業の振興に寄与したいと思い青森県職員を志望しました。

■ 印象に残っている仕事は？

豚熱経口ワクチン散布に関する業務です。委託先との契約等、初めて経験する業務が多く大変ですが、着実に知識・経験を積むことができています。この事業は県による開始から3年目を迎え、効果のある散布地域の選定や散布市町村の拡大等、試行錯誤の連続ですが自分で考え実践できる点にやりがいを感じています。



とある1日のスケジュール

8:30	業務開始→メールチェック
10:00	豚熱経口ワクチン散布に関して委託先と打ち合わせ
12:00	昼休み
13:00	豚熱経口ワクチンの結果取りまとめ
15:00	捕獲野生イノシシのデータ取りまとめ
17:15	業務終了

獣医師修学資金制度

獣医師修学資金制度（獣医系大学生向け）

- ◆ 私立大学の場合、**月額18万円**
国立大学の場合、**月額10万円** を貸与しています。
- ◆ **一定期間勤務すると返還が免除**となりますので、青森県での勤務を希望している方はぜひご利用ください。
- ◆ 青森県出身者でなくともご利用できます！

獣医師修学資金制度について、詳しくは、青森県ホームページでご確認ください。

下記URLまたは右のQRコードからご覧になれます。



【青森県獣医師修学資金（獣医系大学生向け）】

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenko/hoken/syuugakushikintaiyo.html>

獣医師職員養成修学資金制度（県内高校生向け）

- ◆ **入学金**や**前期分の費用**のほか、私立大学の場合、**月額18万円**、国立大学の場合、**月額10万円**を貸与しています。
- ◆ 青森県内の高校生が対象で、進学先となる対象大学は8大学（私立5大学・国公立3大学）です。
- ◆ 大学卒業後、県職員として**家畜衛生業務等に従事して一定期間勤務すると返還が免除**となりますので、獣医系大学への進学を希望している県内高校生はぜひご利用ください。

獣医師修学資金制度について、詳しくは、青森県ホームページでご確認ください。

下記URLまたは右のQRコードからご覧になれます。



【青森県獣医師職員養成修学資金（青森県内高校生向け）】

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/nourin/chikusan/vetsyuugakusikinn.html>

インターンシップ制度

インターンシップ制度

- ◆ **随時受付**しています。
- ◆ 食肉衛生検査所、家畜保健衛生所、動物愛護センター、保健所等の獣医師が勤務する機関において、現場見学や業務体験を行います。
- ◆ **実習の日程、内容は、参加者の希望を基に**決めています。
- ◆ **交通費及び宿泊費の一部を支給できる場合があります。**

(例：青森県内に帰省先がない方)

インターンシップ制度について、詳しくは、下記URLまたは右の二次元コードからご覧になれます。

【青森県獣医師業務体験実習（インターンシップ）】

<https://a-vets.pref.aomori.lg.jp/online/>



青森県獣医師職員総合情報サイト オープン！

動物愛護や食肉衛生、家畜衛生といった重要な役割を担っている獣医師職員について幅広く知ってもらうため、**ウェブサイト「A-VETS（エーベッツ）」**をオープンしました。

漫画で公務員獣医師の仕事をご紹介しているページもあります。採用情報もこちらから。ぜひご覧ください！

<https://a-vets.pref.aomori.lg.jp/>



採用情報

令和8年度 採用試験案内

- ◆ 募集人数 15名程度
- ◆ 受験資格 ①及び②の要件を満たす者であること。
①昭和42年4月2日以降に生まれた者（59歳以下）
②獣医師の免許を有する者又は令和9年6月30日までに獣医師の免許を取得する見込みのある者
- ◆ 試験科目 論文試験 及び 面接試験
- ◆ 試験日・試験会場（予定）

	試験日	会場
第1回	4/18（土）	青森会場、十和田会場、東京会場、北海道会場を予定。 ※試験日・会場はご希望に応じます！
第2回	5/16（土）	
第3回	6/20（土）	

※第4回（7月）以降は随時募集とする予定です。

- ◆ 最新の採用情報・お申込みは下記サイトから！

ウェブサイト「A-VETS」

<https://a-vets.pref.aomori.lg.jp/>



このパンフレットに関する問合せ先

青森県

健康医療福祉部 保健衛生課 食品衛生グループ

☎017-734-9214 ✉hoken@pref.aomori.lg.jp

農林水産部 畜産課 衛生・安全グループ

☎017-734-9498 ✉chikusan@pref.aomori.lg.jp